

分類：医療・社会・行動科学 IV

授業科目名：診療情報（Medical Informatics）

対象学年：4年次必修

時間割コード：71583009

開設学期等：第1週～第3週（毎週火曜日1-4時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

片平 昌幸（准教授、医療情報学講座（基礎棟 1F）、6095、オフィスアワー：17:00-18:00）

2. 担当教員

片平 昌幸（准教授、医療情報学講座（基礎棟 1F）、6095、オフィスアワー：17:00-18:00）

大佐賀 敦（助教、医療情報学講座（附属病院第1病棟 B1F）、6422）

近藤 克幸（非常勤講師、奥州市国民健康保険 衣川診療所）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

情報科学の基礎、情報管理とプライバシー保護に関する必要な知識を学ぶとともに、診療記録の作成・利活用、医療記録の電子化についての理解を深め、社会制度を踏まえた医師としての素養を高める。また、関連するプロフェッショナルリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法制度、EBMについて学ぶ。

- 1) 情報科学の基本的事項とセキュリティに関する技術的事項を説明できる。
- 2) 社会における情報インシデントを事例を通じて理解し、自らが注意すべき事項を説明できる。
- 3) 診療録について、法的背景を含め医師が理解しておくべき事項を説明できる。
- 4) 医療現場における記録の重要性、および診療録改竄の違法性を説明できる。
- 5) 診療録の記載内容、管理・保存、診療情報開示を説明できる。
- 6) 問題志向型医療記録(POMR)を説明でき、実際に作成できる。
- 7) SOAP形式による経過記録を説明でき、実際に記載できる。
- 8) 診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約、等）を説明できる。
- 9) 必要に応じて医療文書を作成できる
- 10) 診療情報の電子化に関する社会背景や現状、諸制度について説明できる。
- 11) 電子化された診療情報の作成ができ、法的要件も含めた管理を説明できる。
- 12) 情報システムを利用する際に留意すべき事項を理解し、情報の授受を適切に行うことができる。
- 13) 医療における個人情報保護の重要性や留意点を説明でき、プライバシー保護とセキュリティに十分配慮できる。
- 14) 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。
- 15) 電子化された診療情報の管理に必要な事項を説明できる。
- 16) 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。
- 17) 医療情報に関連する標準化の必要性や、規格・規約を説明できる。
- 18) 本領域が関連する、医療倫理、医療安全、法的制度について説明できる。

4. 教科書・参考書

医療情報第6版 医療情報システム編 篠原出版新社

5. 成績評価の方法

統一試験、形成試験、レポートにより、総合的に評価します。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

本授業では、講義資料の提示やレポート提出・形成評価にWebclassを利用します。WebClassにアップロードする資料を用いて、授業時間外の準備学習および復習を行ってください。授業期間終了後もWebclassを一定期間開放して、インターネットを利用した復習もできるようにする予定です。

また、本道 PC 実習室利用の都合上、本授業の 3 週目のみ水曜日になりますので、注意してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	4月12日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：情報セキュリティ</p> <p>講義内容 情報システムを利用する医師として知っておくべき情報科学の基本的事項，およびセキュリティについて総括的に解説し，医学生および医療者として注意すべき点について詳説する．</p> <p>具体的到達目標（詳細な学修目標） 1）情報科学の基本的事項とセキュリティに関する技術的事項を説明できる． 2）社会における情報インシデントを事例を通じて理解し，自らが注意すべき事項を説明できる．</p>	片平 昌幸	第二病棟 2階多目的室
2	4月12日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：診療記録と法的背景</p> <p>講義内容 医療機関で取り扱う診療録等の各種記録について，関連法規をはじめとする法的背景および医療者として注意すべき点について解説する．それを踏まえ，診療録に関する基礎知識，問題指向型医療記録，SOAP形式による診療録の記載について詳説する．</p> <p>具体的到達目標（詳細な学修目標） 1）診療録について，法的背景を含め医師が理解しておくべき事項を説明できる． 2）医療現場における記録の重要性，および診療録改竄の違法性を説明できる． 3）診療録の記載内容，管理・保存，診療情報開示を説明できる． 4）問題志向型医療記録(POMR)を説明でき，実際に作成できる． 5）SOAP形式による経過記録を説明でき，実際に記載できる． 6）診療に関する諸記録（処方箋，入院診療計画書，検査・画像・手術の記録，退院時要約，等）を説明できる． 7）必要に応じて医療文書を作成できる．</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室
3	4月19日 (火)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：診療記録の電子化</p> <p>講義内容 診療情報の電子化に関する社会背景や現状・諸制度について解説し，電子カルテに代表される病院情報システムの診療場面における利活用について詳説する．</p> <p>具体的到達目標（詳細な学修目標） 1）診療情報の電子化に関する社会背景や現状，諸制度について説明できる． 2）電子化された診療情報の作成ができ，法的要件も含めた管理を説明できる．</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
4	4月19日 (火)	3-4 時限	講義	<p>テーマ：情報システムの適切な利用，医療と個人情報保護</p> <p>講義内容 情報システムの利用に際して留意すべき点について，社会の動向も踏まえて詳説する．また，医療における個人情報の保護と患者プライバシー保護について，法や公的ガイドラインを踏まえつつ，診療現場での留意点を説明する．</p> <p>具体的到達目標（詳細な学修目標） 1）情報システムを利用する際に留意すべき事項を理解し，情報の授受を適切に行うことができる． 2）医療における個人情報保護の重要性や留意点を説明でき，プライバシー保護とセキュリティに十分配慮できる． 3）患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し，適切な取扱いができる．</p>	近藤 克幸	第二病棟 2階多目的室
5	4月27日 (水)	1-2 時限	講義	<p>テーマ：電子化された診療情報の活用・管理と標準化</p> <p>講義内容 病院情報システムによる診療記録の管理，医療機関における情報システムの導入や地域医療連携で重要となる「標準化」について，その概念および代表的な標準規格について講義する．</p> <p>具体的到達目標（詳細な学修目標） 1）電子化された診療情報の管理に必要な事項を説明できる． 2）症例を適切に要約する習慣を身に付け，状況に応じて提示できる． 3）医療情報に関連する標準化の必要性や，規格・規約を説明できる．</p>	大佐賀 敦	第二病棟 2階多目的室
6	4月27日 (水)	3-4 時限	形成評価	<p>テーマ：病院情報システム操作説明・全体討議・形成評価</p> <p>前半は，第二病棟 2階多目的室において，臨床実習で使用する附属病院の病院情報管理システム（電子カルテ）の操作方法を概説する．続けて全体討議を行い，レポート課題について説明する． 後半は 5B 実習室へ移動し，形成試験を実施する．</p>		第二病棟 2階多目的室・5B 実習室